

VMwareの仮想化システム構築に最適な富士通PCサーバ「PRIMERGY」。

PCサーバPRIMERGYはインテル® マルチプロセッサ対応の高性能CPUを搭載し、優れたパフォーマンスを発揮する高性能サーバです。高信頼を実現する充実した機能を備えており、VMwareに対応したサーバ監視ソフトウェアServer View Operations Managerを使用することで、トラブルの未然防止／早期発見を支援します。

ヴァイエムウェア社認定 PRIMERGY ラインナップ ※1 ※2

ヴァイエムウェア社認定ハードウェアPRIMERGYで構築したシステムにより、安心して仮想化システムをご利用になれます。さらに当社ではSANストレージETERNUS DXシリーズ、NASストレージNR1000Fについても、ヴァイエムウェア社認定を取得し、お客様の仮想化システムニーズに合わせて自由に選択できるよう、豊富なハードウェアラインナップを取り揃えています。

※ヴァイエムウェア社によるサーバ性能情報は右記URLにて確認できます (http://www.vmware.com/products/vmmark/results.html)

タワー/ラック兼用型	ラック型	ブレード
TX200 S6 TX300 S6 	RX100 S7 RX200 S6 RX300 S6 RX600 S6 	BX920 S2 BX924 S2 BX922 S2 BX960 S1 

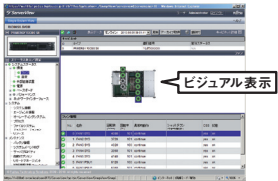
※1: サポート可能なVMwareの最新版数については、弊社HP (http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/vmware/) のVMware ESXiサポート版数一覧表を参照下さい。

※2: SATA/SSDはVMware未サポートとなります。

サーバ監視ソフトウェア ServerView Operations Manager / ESXi CIM Provider

PCサーバPRIMERGYに標準添付されているハードウェア監視ソフトウェアです。監視／検出したハードウェアの故障をコンソールで表示し、管理者にメールでタイムリーに通知することで、サーバの早期復旧とシステムの安定運用を支援します。

- 予兆監視と確実な故障検出**
サーバを構成するハードディスクやメモリ、プロセッサ、システムボードに至る約300～400箇所の部品について、故障に至る前の予兆を監視するとともに、故障部分を特定します。
さらに、サーバの周辺／内部温度、電源変動などの環境状況も監視することで、システム運用に高い信頼性を保持します。サーバ単体の監視だけでなく、複数サーバの一括監視も可能です。
- 他システムとの容易な連携**
サーバ監視ツールに共通規格準拠のインターフェースを使うことで、当社統合運用管理ソフトウェアSystemwalkerなど、さまざまな運用管理ソフトウェアとの連携により、サーバだけでなくネットワーク／ストレージ機器を含めたシステム全体の運用監視が可能です。



PRIMERGY BX920 S2 / RX300 S6 / RX200 S6 VMware ESXi 5.0 インストールタイプ

ヴァイエムウェア社認定のブレード型サーバPRIMERGY BX920 S2及び、ラック型サーバPRIMERGY RX300 S6 / RX200 S6に、仮想化環境を提供するvSphere ESXi 5.0をプレインストールした製品です。



※vSphere ESXi 5.0専用ソフトサポートとして別途SupportDesk製品を提供します。詳細については、弊社営業または販売パートナーまでお問い合わせください。
※本製品の詳細仕様につきましては、弊社製品情報ページ (http://primeserver.fujitsu.com/primergy/) よりPRIMERGYシステム構成図をご確認ください。

- スピーディーで効率的な構築を実現**
サーバ本体に組み込まれた専用のUSB FlashモジュールからVMwareプログラムを直接起動して使えるため、導入時のインストール作業が不要です。さらに、VMware領域としてはハードディスクを利用しないため、最小リソースで仮想化環境を構築できます。
- VMware vSphere 5 エディション3種**
仮想化環境を提供する無償ライセンスのvSphere ESXi 5.0が標準でインストールされているほか、VMware vSphere 5 Standard / Enterprise / Enterprise Plusエディションライセンスを別売オプションにて選択可能です。

環境への取り組み

マニュアルの電子化

自然保護、環境への配慮より、紙資源の節約への貢献を目的として、従来の印刷マニュアルを必要最小限におさえ、電子データ(PDF)で提供しています。



ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C017759



VEGETABLE
OIL INK



Mitsubishi
Printing, Naturally.

廃棄・譲渡の際のハードディスク内データ消去について

ご使用になっていたPRIMERGYを廃棄・譲渡する際には、お客様の責任でハードディスクに記録された全データを消去することを強く推奨します。詳細につきましては、「インターネット情報ページ」(http://primeserver.fujitsu.com/primergy/note/)をご覧ください。

●Support Desk紹介ページ「製品サポート」<http://jp.fujitsu.com/solutions/support/sdk/>

安全に関するご注意

ご使用の際は、マニュアルの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

水、湿気、湿気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないでください。火災、故障、感電などの原因となることがあります。表示された正しい電源・電圧でお使いください。

本製品に選択することができるCD/DVDドライブはレーザーを使用しています。 **クラス1レーザ製品**

製品・サービスについてのお問い合わせは

富士通コンタクトライン

0120-933-200

受付時間 9:00～17:30(土・日・祝日・年末年始を除く)

富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/>

CG4401-16 2011年10月M

FUJITSU VMware on PRIMERGY PCサーバ

shaping tomorrow with you

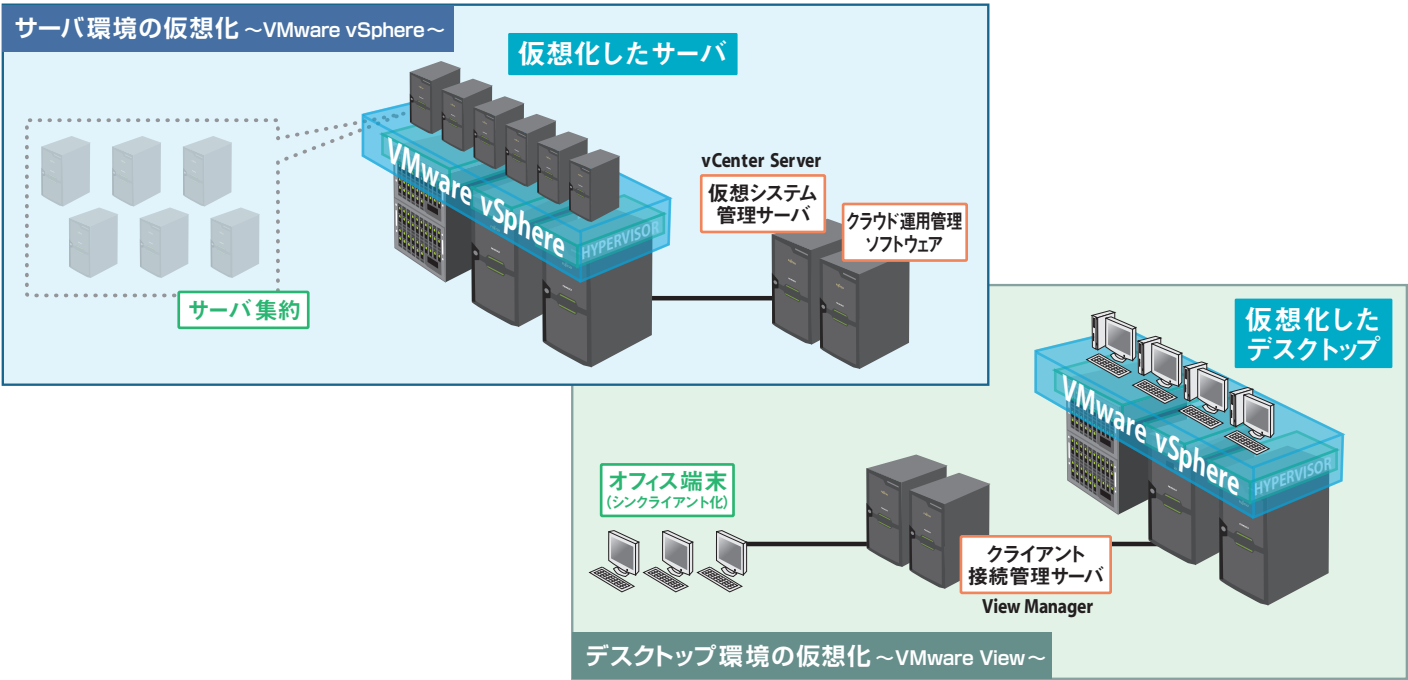
社会とお客様の豊かな未来のために

仮想化システム導入効果へのお客様評価は高まっています

TCO削減、ITガバナンス実現、全社インフラのサービス向上をお約束する、VMware on PRIMERGY

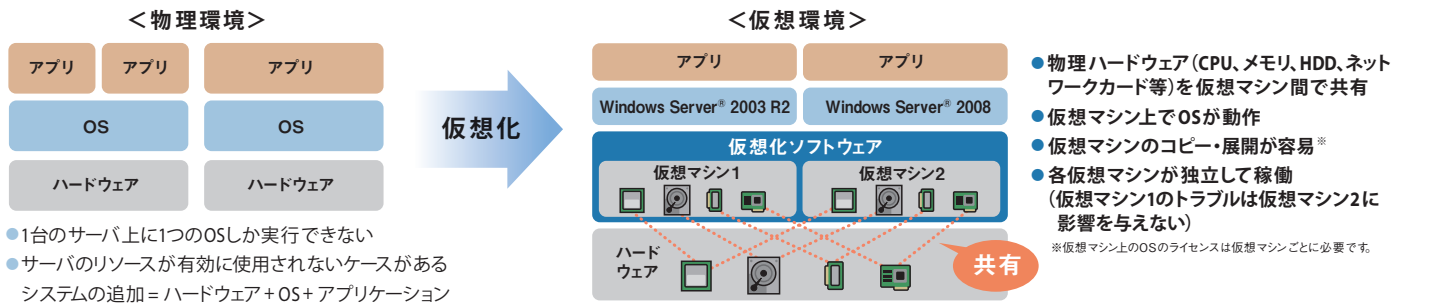
富士通のPCサーバPRIMERGYと仮想化ソフトウェアVMware vSphere/ Viewにより、オフィスのデスクトップ環境からサーバシステムまで、お客様のさまざまな仮想化ニーズにお応えし、効率よく仮想化を実現します。

富士通では、仮想システムを構築するハードウェア製品、仮想化ソフトウェアに加え、物理/仮想の統合運用および、プライベートクラウドを実現する管理ソフトウェアやサービスなど、お客様の仮想化システムを総合的に支えるラインナップにより、システムの柔軟性の向上、運用の効率化から安心・安全の提供まで、幅広い仮想化ソリューションを提供します。



サーバの仮想化技術とは

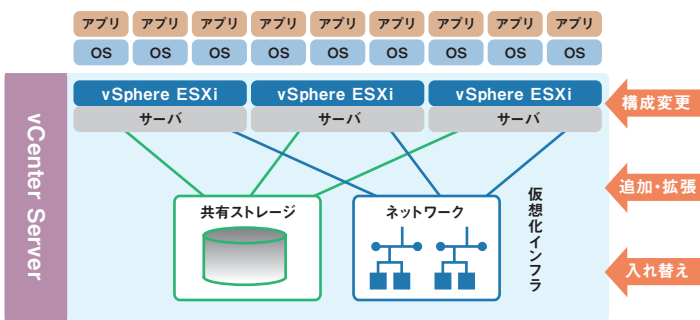
サーバの仮想化技術とは、1台の物理サーバのリソースを分割し、仮想化したサーバを複数動作させる技術です。この技術により、1台のサーバ上に複数のシステムを同時に実行することができます。同じサーバ上で動作している仮想的なサーバに割り当てられたリソースは独立しているため、互いに影響を与えることはありません。



物理サーバで構成されているシステムよりも、仮想化したサーバはハードウェアリソースの有効活用、ハードウェアとOS更新サイクルの分離、仮想サーバの作成/変更/削除が迅速に自由におこなえるなどのメリットがあります。さらに複数のサーバで仮想化し、相互に補完しあうことにより、可用性を高めることができます。

VMware vSphereとは

サーバ1台から複数サーバ構成まで対応可能なサーバ仮想化ソフトウェアです。システムの柔軟性を高め、フレキシブルな仮想化インフラの運用を可能にし、プライベートクラウド構築の基盤となるPCサーバ仮想化プラットフォームを提供します。また物理環境と仮想環境が混在した場合には、サーバ管理ソフトウェア ServerView Resource Coordinator VEを組み合わせることにより、統一管理も可能です。



VMware vSphere ラインナップ



VMware vSphere®は、あらゆる規模のIT環境に対応し、充実したラインナップを提供しています。各エディションはそれぞれ異なるユーザーおよびIT環境の特定のニーズに対応できるよう最適化されています。

中～大規模システム / データセンター向け仮想化ライセンス

VMware vSphere 5 Standard

1台のサーバで複数の業務を動作させる基本利用から、複数台で可用性を高めたサーバ集約まで活用できるパッケージです。また、Standard 8CPU分ライセンスにvCenter Server 5 Standard 1本をセットにしたパッケージ Standard Acceleration Kitもご用意しています。

VMware vSphere 5 Enterprise

消費電力の最適化やビジネス優先順位に基づいた仮想マシンの動的割り当てなど、ダウンタイム、データ保護、およびリソース管理のための主要機能を含んだパッケージです。また、Enterprise 6CPU分ライセンスにvCenter Server 5 Standard 1本をセットにしたパッケージ Enterprise Acceleration Kitもご用意しています。

VMware vSphere 5 Enterprise Plus

企業・団体レベルで導入するPCサーバを仮想マシンで標準化し、統一したPCサーバの導入から運用管理までライフサイクル全体の効率化を実現するパッケージです。VMware vSphere 5のフル機能を含み、共有ストレージやネットワークを含む仮想化インフラの動的構成変更などフレキシブルな運用管理を可能にします。また、Enterprise Plus 6CPU分ライセンスに、vCenter Server 5 Standard 1本をセットにしたパッケージ Enterprise Plus Acceleration Kitもご用意しています。

仮想化環境向け管理ライセンス

VMware vCenter Server 5 Foundation **VMware vCenter Server 5 Standard**

vSphere ESXiや仮想マシンの設定、監視等を一元的に管理し、管理者の負担を大幅に軽減します。3台までのESXiサーバを管理できるFoundationと、1000台までのESXiサーバを管理し、さらにLinked Modeなど多数台サーバの管理を容易にする機能を備えたStandardの2種類のエディションをご用意しています。

小規模部門 / 店舗利用向けセット商品

VMware vSphere 5 Essentials **VMware vSphere 5 Essentials Plus**

小規模な仮想環境向けに特化したエディション。1つのシステム内で利用できるESXiサーバの台数を3台までに限定し、PCサーバ仮想化の基本機能をお手軽にご利用いただけるパッケージです。小規模な部門システムでの導入や、初めてPCサーバ仮想化を導入されるお客様に最適です。

パッケージ構成 (主要コンポーネント)		中～大規模システム / データセンター向け仮想化ライセンス			小規模部門 / 店舗利用向けセット商品	
推奨システム						
エディション		Standard	Enterprise	Enterprise Plus	Essentials	Essentials Plus
コンポーネント名称						
VMware vSphere ESXi		●	●	●	●	●
VMware vSphere Thin Provisioning		●	●	●	●	●
VMware vSphere High Availability (HA) ^{※1}		●	●	●	—	●
VMware vSphere Data Recovery ^{※1}		●	●	●	—	●
VMware vSphere vMotion ^{※1}		●	●	●	—	●
VMware vSphere Fault Tolerance (FT) ^{※1}		—	●	●	—	—
VMware vSphere Distributed Resource Scheduler (DRS) / VMware vSphere Distributed Power Management (DRM) ^{※1}		—	●	●	—	—
VMware vSphere Storage vMotion ^{※1}		—	●	●	—	—
VMware vSphere Distributed Switch ^{※1}		—	—	●	—	—
VMware vSphere Auto Deploy ^{※1}		—	—	●	—	—
VMware vSphere Storage DRS ^{※1}		—	—	●	—	—
VMware vCenter Server for Essentials ^{※2}		—	—	—	●	●

※1:本コンポーネントを利用するためには、管理ライセンスのVMware vCenter Server 5 が必要です。
※2:本製品はEssentials/ Essentials Plus専用コンポーネントです。Essentials/ Essentials Plus以外のエディションでは利用できません。

主なコンポーネント

- **vSphere ESXi**
本番環境での実績が豊富な仮想化環境を提供する基本コンポーネントであり、複数の仮想マシンを動作させることが可能です。物理サーバを超える高い統合率によりリソースを効率的に共有利用することで、アプリケーション性能を向上します。
- **vSphere HA**
1つのvSphere ESXiが異常停止した場合、別のvSphere ESXi上で自動的に仮想マシンを再起動させる機能。最低限の停止時間で業務を継続することができます。
- **vSphere Data Recovery**
小規模環境の仮想マシンで、シンプルで費用対効果に優れた、エージェントを必要としないバックアップとリカバリーが利用できます。
- **vSphere vMotion**
稼働中の仮想マシンを停止させることなく、仮想マシンを別のvSphere ESXi上に移動させる機能。ハードウェア保守やシステム拡張等が必要な場合でも、業務を停止することなくメンテナンス可能です。

- **vSphere Thin Provisioning**
仮想ディスクを実際に利用しているデータの容量だけ確保し、必要に応じて拡張できる機能です。この機能を使用することで、ストレージの利用率が向上します。
- **vSphere DRS/ DPM/ Storage DRS**
仮想マシンを動作させるのに最適なサーバ/ストレージを自動検知する機能。サーバ/ストレージの負荷を最適化し、管理者の負荷軽減と省電力を実現します。
- **vSphere Distributed Switch**
従来vSphere ESXi単位で分かれていた仮想スイッチを、複数のvSphere ESXiで横断した一つの仮想スイッチとして構成できます。ネットワーク設定や運用を集中管理できます。
- **vSphere Auto Deploy**
複数の物理サーバにネットワーク経由でvSphere ESXiを展開するための機能。vSphere ESXiをインストールする作業が不要になるため、構築作業の軽減が図れます。

VEW社認定PCサーバPRIMERGYとVMware vSphereの導入により、オフィスのサーバ運用を最適化

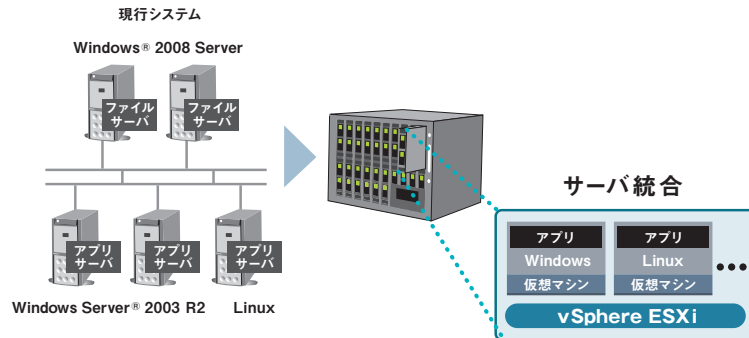
仮想化システムに最適な、グレイムウェア社の認定を受けた高性能PCサーバPRIMERGYと、VMware vSphereの仮想化機能、ServerView Resource Coordinator VEのサーバ管理機能により、それぞれの元サーバの独立性は確保されたまま、サーバ管理コストを削減し、リソースを効率よく利用できます。

複数プラットフォーム環境のサーバ統合／集約

課題 ●部門毎の業務要件に任せてPCサーバを導入していった結果、多種多様のサーバを抱え、運用管理が煩雑。

VMware vSphereのサーバ仮想化機能により、
プラットフォームが異なる複数のサーバを仮想環境に集約！

- 異なるOSなどで構成される複数のサーバ環境を仮想化集約することで、サーバ環境の標準化を実現し、管理コストを削減します。

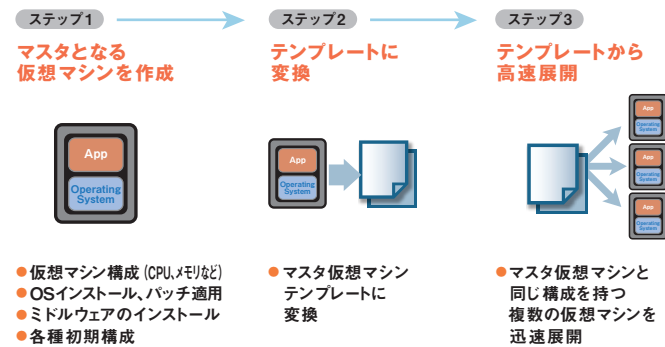


仮想マシン構築の簡素化

課題 ●利用部門の要求に対して、タイムリーに新しいシステムを導入するのは難しい。

vCenter Serverのテンプレート機能により、プライベートクラウド環境 (IaaS) で、新規サーバの展開が容易に

- OS/ミドルウェアまたは、OS/ミドルウェア/アプリケーション
まで含めた環境を仮想化し、テンプレートに保存された環境を
再利用することで、いつでも簡単に新規サーバを展開できます。
- 種類の異なる複数のOSをテンプレートとして保存できるため、
マルチプラットフォーム環境でも、容易に新規サーバを展開できます。

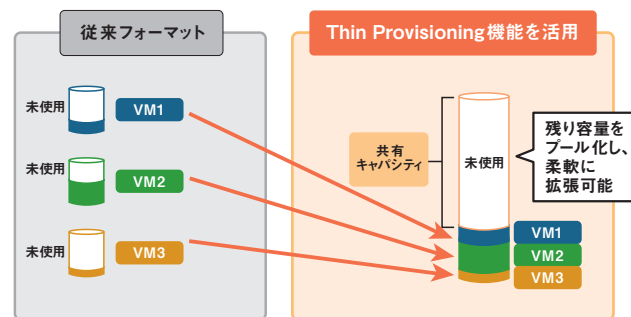


ディスクリソース管理の向上

課題 ●将来のデータ量増加を想定して仮想マシンごとに容量を確保すると、大量の空きディスクが発生し、未使用領域が無駄になる。

**vSphere Thin Provisioning 機能を活用することで
ディスク資源を柔軟に提供！**

- 使用するだけのストレージ容量を確保し、残りの容量をプール化することで、ストレージ容量を有効に活用します。
- 物理的にディスク容量が不足した場合は、当社ストレージETERNUSの活性拡張機能で業務を止めずに、ディスクの追加が可能です。
- ETERNUSディスクストレージシステムは、vStorage API for Array Integration (VAAI)およびvStorage APIs for Storage Awareness(VASA)に対応しています。これにより、ディスクアレイのリソースを活用したシステム性能が向上し、内部の属性を可視化し管理を容易にする機能が提供されます。



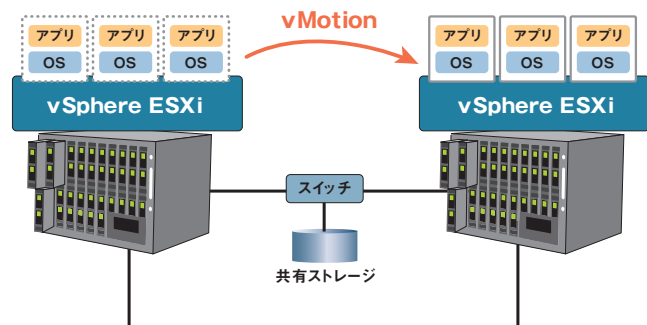
サーバ運用の強化

課題

- 日中に業務を停めることはできないので、保守作業を夜間や休日に行うのは作業コストがかかる。
- 仮想マシン用のサーバを増設する際に、CPU世代の互換性を考慮する必要がある。

**vSphere vMotion機能により
ハードウェアを意識しないサーバ運用を実現！**

- 仮想マシンを稼働させたまま、別の物理サーバへ移動ができるので、平日の日中でもハードウェアの電源を停止して保守作業ができるようになり、管理者の負担を大きく軽減します。
- 世代が異なるCPU間でもvMotionが適用できるEnhanced vMotionにより、ハードウェアの切り替えを伴う中長期的なサーバ増設にも対応します。



VMware vSphereの多様な仮想化機能により、 効果的なTCO削減と運用管理の最適化を実現

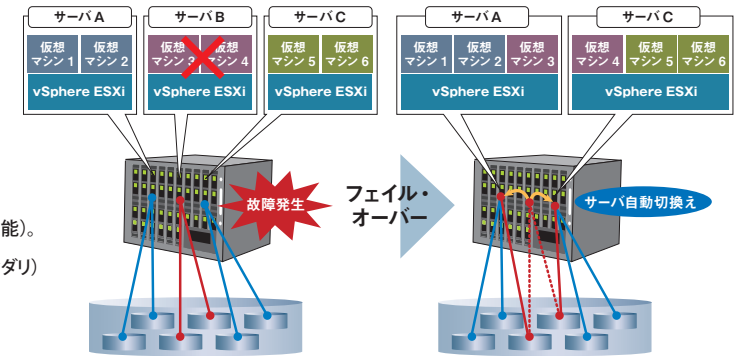
複数サーバの仮想化もスムーズに構築し、リソースを柔軟に管理するVMware vSphereの各種機能と、高い信頼性を誇るPCサーバPRIMERGY、物理/仮想サーバの統合運用を実現するServerView Resource Coordinator VEを活用することにより、お客様のデータセンターシステム運用に最適な仮想化環境を提供します。

サーバ仮想化環境における業務継続性の向上

課題 ●サーハ集約した環境での万が一のハードトラブルに備えて、耐障害性を高めたい。

vSphere HA機能により業務の停止時間を最小化！
vSphere FT機能により、ESXiサーバダウンでも業務を継続！

- 各ESXiサーバ間で相互監視を行い、物理サーバの故障に伴うESXiサーバのダウンを自動的に検出します。
- サーバダウン時には、正常なESXiサーバ上に仮想マシンを自動で再起動することで、コールドスタンバイ相当の可用性を提供します（vSphere HA機能）。
- サーバダウン時には、正常なESXiサーバ上で稼働している仮想マシン（セカンダリ）に処理を引き継ぐことで、業務の継続性を高めます（vSphere FT機能）。
- さらに、ServerView Resource Coordinator VEを活用することにより物理サーバの障害予兆を検出。正常な物理サーバへ仮想サーバを自動的に移動することで、システムダウンを未然に防止します。

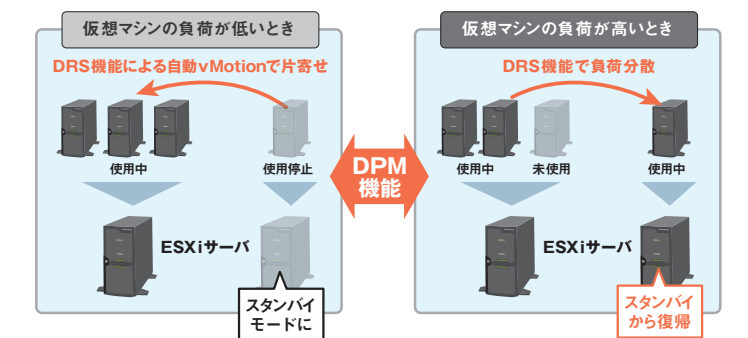


サーバの電源管理の自動化

課題 ●仮想マシンのシステム負荷状況をシステム管理者が監視して最適化を実施するのは大変。

**vSphere DRS / DPM機能により、
仮想マシンを最適配置し消費電力を削減！**

- 仮想マシンの負荷状況に応じて仮想マシンの片寄せを行い、動作していないESXiサーバを自動的にスタンバイモードにすることで、消費電力を抑えます。
- 仮想マシンの再配置や省電力の管理を自動化することで、システムの負荷だけでなく管理者の負荷も軽減します。
- さらに、ServerView Resource Coordinator VEとブレードサーバを組み合わせればブレードシャーシの電源制御も可能になります。



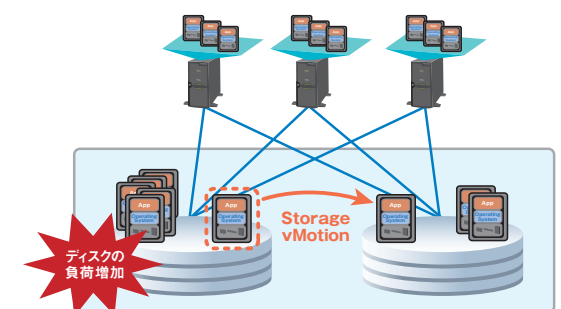
※DRS機能:各仮想マシンが十分なリソースを得られるようにグループ化し、複数の物理サーバの中で、仮想マシンを自動的に再配置する機能

ストレージの負荷分散の自動化

課題 ●仮想マシンが増加すると、仮想マシンを配置する最適なデータストアを決めるのは難しい。

**vSphere Storage DRS / vMotionにより、
自動でデータストアの最適化を実現！**

- SAN、NASといった共有ストレージを含めた、複数のデータストアをプール化して管理し、さらに自動で仮想マシンを再配置することで、データストアの負荷（使用量、ディスクI/O）を平準化します。

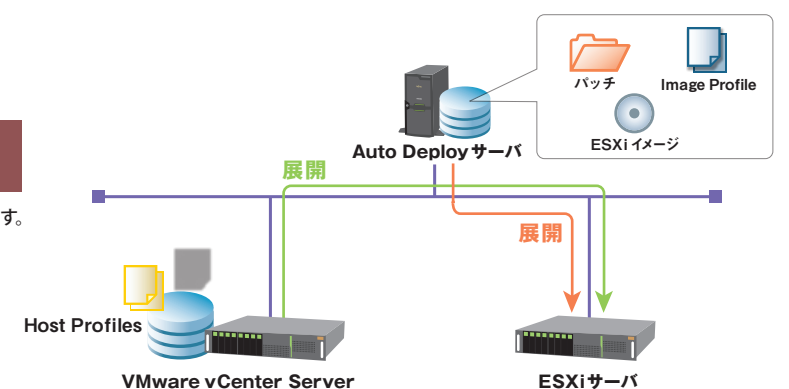


ESXiサーバ大量展開の簡素化

課題 ●大規模仮想サーバシステムを構築する際に、同一ESXiサーバを1つずつ作成するのは大変。

**vSphere Auto Deployにより、
スピーディーにESXiサーバの構築展開が可能！**

- ネットワーク経由でESXiを起動し、自動的にESXi環境を設定できます。サーバの電源を入れるだけで、インストール作業や設定作業が不要なため、構築作業を簡素化し、ESXiサーバの構築展開に素早く対応します。
- パッチ適用済のESXi マスターイメージを利用することで、ESXiサーバごとのパッチ適用作業も不要になり、運用管理工数を削減できます。

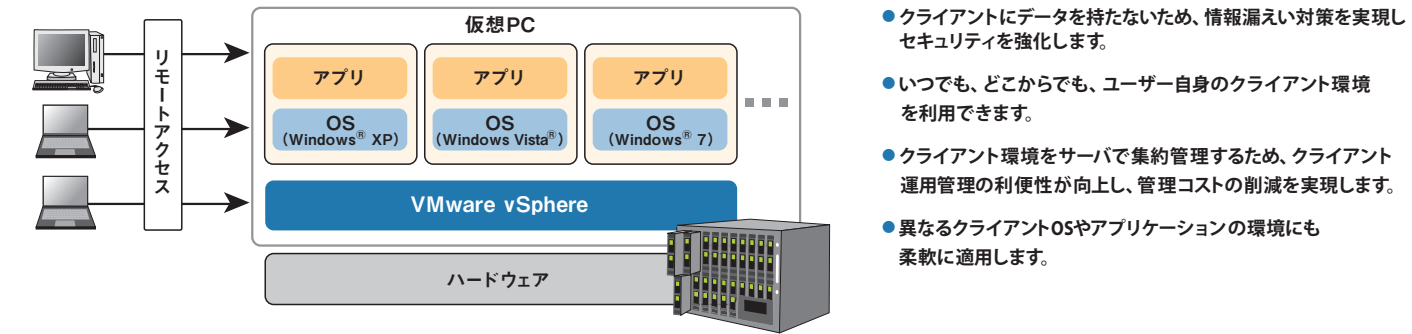


VMware Viewによりクライアントの仮想化を実現 セキュリティと利便性を向上するシンクライアントソリューション

VMware vSphereの仮想化技術を用いてデスクトップ環境をシンクライアント化し、管理コストを削減しながらクライアントのセキュリティと利便性を両立させます。

クライアントの仮想化技術(仮想PC方式)とは

物理サーバ上に、業務の実行環境(OS、アプリケーション、データ)を仮想化し、ユーザーごとに仮想PCとして提供する技術です。ユーザーは、サーバ上に構築されている仮想PCにリモートアクセスして物理環境と同様にOS、アプリケーションを利用できます。

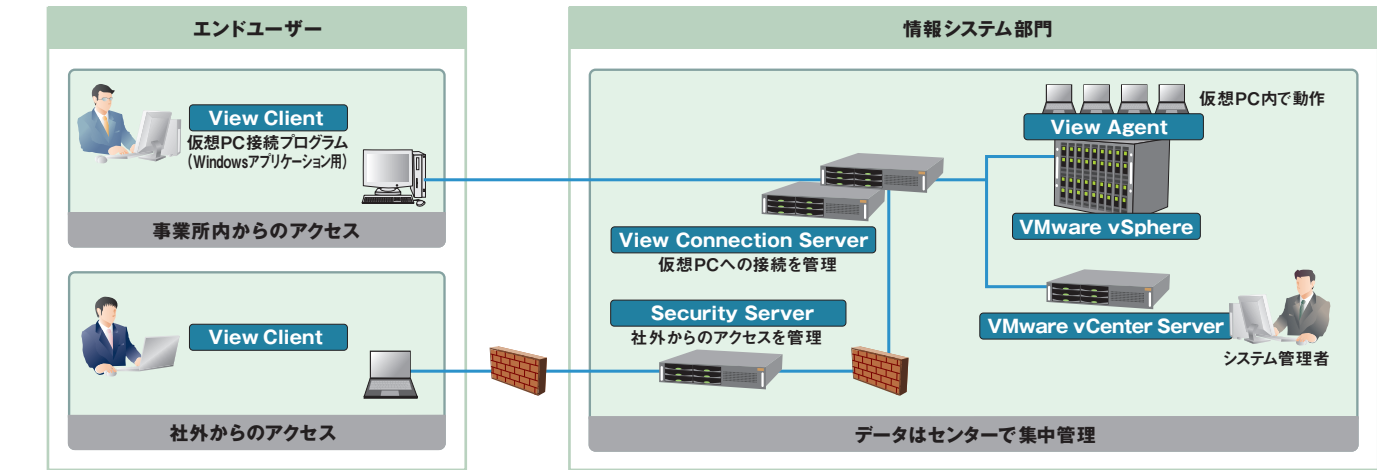


- クライアントにデータを持たないため、情報漏えい対策を実現しセキュリティを強化します。
- いつでも、どこからでも、ユーザー自身のクライアント環境を利用できます。
- クライアント環境をサーバで集約管理するため、クライアント運用管理の利便性が向上し、管理コストの削減を実現します。
- 異なるクライアントOSやアプリケーションの環境にも柔軟に適用します。

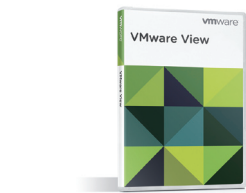
VMware Viewとは

仮想PC方式によるクライアントの仮想化を実現するソフトウェアです。

VMware View™を導入することで、確かな実績のあるヴィエムウェア社のサーバ仮想化技術と、クライアント仮想化技術の組み合わせにより、管理コストを削減しながらクライアントセキュリティと利便性の向上を実現します。



VMware View ラインナップ



VMware Viewは、クライアント仮想化を実現する
2つのエディションから選択いただけるようになっています。

VMware View Enterprise

シンクライアント環境を構築するための基本機能
View Managerを包含し、クライアントの仮想化を実現する
最小構成のパッケージです。

主なコンポーネント

● View Manager

仮想PCと管理サーバ間のセッションを実現し、仮想PCの管理を行います。View Connection Server、Security Server、View Agent、View Clientとよばれる4つのソフトウェアコンポーネントからなります。

● View Composer

システムイメージを仮想PC間で共有する機能。仮想PCのシステムディスク容量の削減*や、一括でのパッチ適用 / アップデートが可能です。
*削減効果はお客様環境により異なります。

● ThinApp

アプリケーションを仮想化して、クライアント環境に左右されことなく動作させる機能*。個々のクライアントへのアプリケーションインストールが不要になります。
*全てのアプリケーションの仮想化及び、仮想化したアプリケーションの動作を保証するものではありません。本機能の利用にあたっては、事前にお客様環境での動作検証を行ってください。

VMware View Premier

VMware View Enterpriseに、View Composer、ThinAppなどの
上位機能を標準装備したパッケージです。
仮想PCの管理利便性をさらに向上します。

VMwareのスムーズな運用を支援する当社ミドルウェア／サービス

サーバ管理ソフトウェア ServerView Resource Coordinator VE

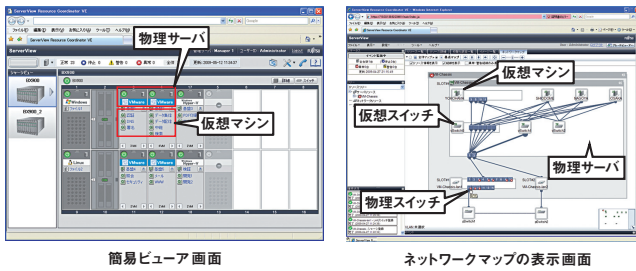
ハードウェアから仮想環境までの一貫した管理により、安全で効率的なサーバ運用を実現します。

● サーバ状態のみえる化

仮想マシンと物理サーバの状態や関係、仮想マシンのネットワークなど、柔軟に変化する環境の把握を容易にして、確認の手間を軽減します。万が一の障害発生時には、影響が及ぶ物理サーバ・仮想マシンを一面で把握できるため、障害切り分け時間が短縮されます。

● 障害復旧・保守の迅速化

サーバ状態を監視しながら仮想マシンの移動を操作できます。サーバ保守時などに、他の物理サーバに退避していた仮想マシンを一括して元通りの配置に戻すことができます。これにより、人的ミスの防止に役立ちます。さらに故障予兆検出時に、仮想マシンの退避を自動的に行います。これにより、業務停止を未然に防止します。



ストレージ基盤ソフトウェア ETERNUS SF Storage Cruiser

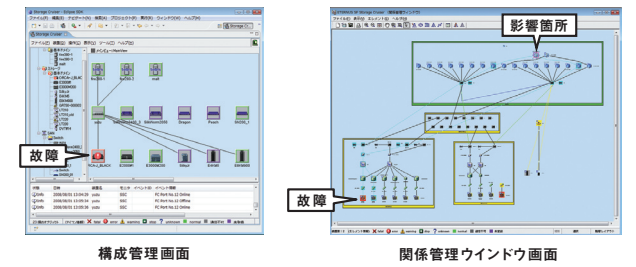
VMware環境において、富士通のストレージシステムETERNUSを中心としたストレージ資源の一元管理を可能にし、ストレージの運用管理の簡素化を実現します。

● ストレージ構成、障害、性能ボトルネックの迅速な把握

SAN (Storage Area Network) 構成機器の物理結線、論理結線の関係が視覚的に把握できます。また、ストレージ装置のI/O性能等運用に影響を及ぼすような故障があった際には、影響を受ける仮想マシンが可視化できるため、迅速に適切な処置ができます。さらに、I/O負荷の監視や性能ボトルネックの特定も可能です。

● VASA対応

vStorage APIs for Storage Awareness (VASA)に対応しています。これにより、VMware vCenter Serverの管理画面でETERNUSディスクストレージシステムにおけるLUNのRAIDタイプなどの属性が可視化され、データストアやゲストのデータを割り当てる際に、適切な領域を容易に指定できるようになります。



富士通主要ミドルウェアのVMwareへの取り組み

富士通では、VMwareによる仮想環境上でもお客様の業務運用を円滑に進められるよう、VMware上での主要ミドルウェア製品の動作をサポートしています。



保守・運用支援サービス SupportDesk

製品購入から1年間、VMwareをサポートするSupportDesk Standardがバンドルされています。
ヴィエムウェア社との緊密な連携と富士通がこれまでに蓄積した運用ノウハウにより、安心のサポートをご提供します。

● お客様専用ホームページSupportDesk-Webによる情報提供

修正情報や技術情報、セキュリティ情報などの提供を行います。SupportDesk-Webにより、いつでも最新情報を閲覧することができます。
お客様自身での問題解決が可能となり、トラブルの未然防止を図れます。

● VMwareのバージョンアップグレード

VMwareのバージョンアップグレードの権利が与えられます。
SupportDesk契約期間内であればいつでも、最新のバージョンを利用できます。

● 専門スタッフによるQ&A対応／問題解決支援

電話・FAX・SupportDesk-Web・E-mailによりVMwareに関するトラブル／Q&Aに、富士通サポートセンター(OSC*)の専門スタッフが対応。万一のトラブル時には、現象からの原因解析や回避策の提示などを行い、お客様の疑問・トラブルの早期解決を支援します。*OSC:One-stop Solution Center



【サービス時間帯】 ●月曜日～金曜日 8時30分～19時
(祝日および12月30日～1月3日を除く)
●24時間365日

【サービス期間】 VMwareご購入から1年間
※お客様登録完了後、サービス提供開始となります。
※VMware以外のハードウェア/OS/ミドルウェアのサポート、またVMwareの2年目以降のサポートにつきましては、別途ご契約が必要です。

システムスタートアップサービス

PRIMERGYにVMwareを導入して仮想マシンを構築するサービスです。
お客様のニーズに合わせた仮想マシンの構築、仮想マシン上へのゲストOSの導入手順の提示などをおこない、お客様システムの早期立ち上げをサポートいたします。

データセンターアウトソーシングサービス

高度なセキュリティと堅牢なファシリティを備えた富士通システムセンター経由で、VMwareを搭載したPRIMERGYの運用をおこなうサービスです。
24時間365日、お客様のニーズに合わせた、高品質な運用、導入後の利用状況のレポートなど、ライフサイクル全般をサポートいたします。

国内最大規模を誇るショールーム兼検証サポート施設「富士通トラステッド・クラウド・スクエア」

「富士通トラステッド・クラウド・スクエア」は、お客様のビジネスの成長を、お客様と共に先進のICTで具現化する、国内最大規模を誇るショールーム兼検証サポート施設(東京・浜松町)です。先進の仮想化技術によるICTインフラの最適化や、ICTのライフサイクルを踏まえた運用最適化など、“高信頼”に徹底的にこだわった富士通のクラウド・コンピューティングを構成する技術・製品・サービスを、デモンストレーションやセミナーを通してお客様に確認・体感していただけます。また、お客様システムの検証/ベンチマークを、専任エンジニアが強力にサポートします。

※従来のPlatform Solution Centerを、クラウド・コンピューティング時代に合わせて全面リニューアル(2010年4月)しました。(総床面積 約3,600㎡、サーバ/ストレージ設置台数 約300台)

Fujitsu Trusted Cloud Square



「富士通トラステッド・クラウド・スクエア」(東京・浜松町)